

4. これまでのワークショップのとりまとめ

これまでの4回のワークショップにおいて、「蔵本・佐古地区における交通事故対策」及び「国道192号の歩行空間デザイン」について、地域の皆様のご意見を伺いながら以下の通り対策内容の検討・決定を行いました。

今後は、ワークショップで決定された対策を一日も早く実現できるよう、各管理者がそれぞれ設計・施工を行っていきます。具体的には、交通事故対策については、用地買収を伴わない箇所については2年以内に完了し、用地買収を伴う箇所については、早期の対策に向けた協議等を進めていきます。また、国道192号の歩行空間デザインについては、現在策定中の新たな電線類地中化計画（平成16年～20年）の中でのなるべく早期に施工を行っていく予定です。ワークショップに参加いただいたメンバーの皆様には、工事情報等のご提供を通じ、今後とも引き続き地域と行政が一体となった道づくりを見守って頂きたいと考えております。

交通事故対策

交通事故対策について

- ・蔵本・佐古地区内全自治会の皆様の協力により、普段生活する中で危険を感じる地点（「ヒヤリポイント」）を一斉調査（調査票を417票配布、回収数242（回収率58%））
- ・意見が5件以上あったヒヤリポイント（計30地点）を対策箇所に決定。
- ・各対策箇所について、対策内容（横断歩道部のカラー化、出入口の明示、交差点の明示等）を具体的に検討・決定。
- ・来年度より、各管理者が対策を開始。（用地買収を伴う箇所を覗き2年以内に完了）

事故対策箇所（30箇所）



対策例



- ・歩道のカラー舗装化（出入口部と一般部の色分け）
- ・防護柵または車止め（ポストコーン）の設置

- ・交差点カラー舗装化（口の字）
- ・路面標示の設置（クロスマーク）
- ・交差点中心に自発光式道路紙設置
- ・横断歩道部のカラー化

- ・交差点のカラー舗装化（口の字）
- ・路面標示の設置（クロスマーク）
- ・交差点中心に自発光式道路紙の設置

- ・歩行者たまりスペースの拡大
- ・自転車横断帯の移設
- ・横断歩道部のカラー化

歩行空間デザイン(国道192号)

歩道の材質と色彩について

- ・材質は、段差が生じにくく滑らかな仕上がりとなる「カラー舗装」に決定。
- ・色彩は、出入口の赤色が最も映えるという理由から「緑系」に決定。

街路樹の配置について

- ・狭い歩道幅員を最大限有効に活用したいとの意見、街路樹の落葉等による沿道への支障を懸念する意見を考慮し、植樹をせずに歩行空間を広く確保することで一致。
- ・ただし、蔵本町交番付近の歩道内の大木はそのまま存置。

バス停部の歩行空間確保について

- ・バス停車帯の切り込み及びベンチにより歩行空間が狭くなっている中央病院前及び徳島大学付属病院前のバス停部について、今後歩行空間確保に向けて関係者間で検討を進めていくことを確認。

現況の歩道

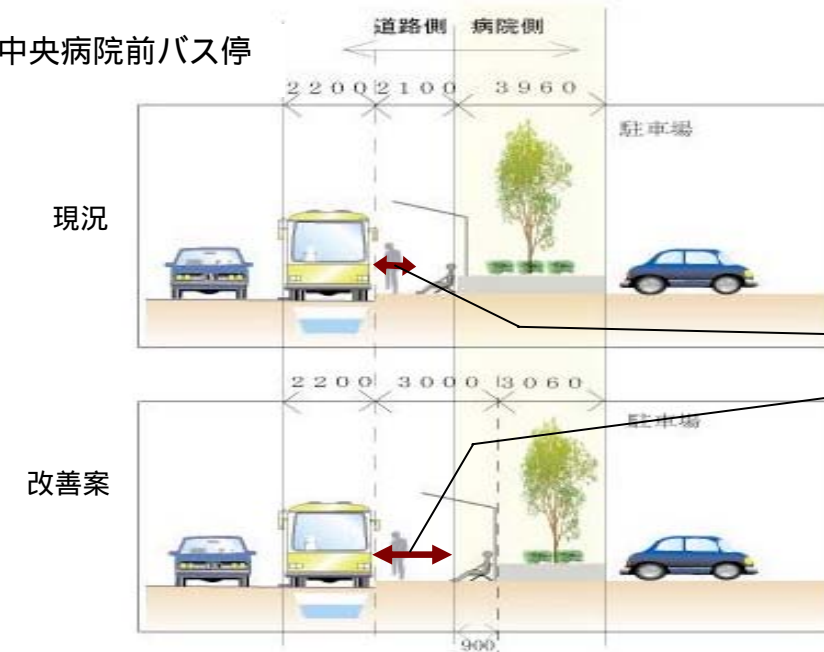


完成イメージ



- ・カラー舗装
- ・緑系
- ・植樹なし

県立中央病院前バス停



現況

改善案

- ・歩行空間の拡幅を今後検討
- ・徳島大学付属病院前も同様

現在策定中の新たな電線類地中化計画（平成16年～20年）の中で、なるべく早期に施工を行っていく予定です。